
b アクセス BIZ 使用説明書

はじめに

bアクセス BIZ(以下、「本ソフトウェア」)は、bモバイルによる通信をより快適に利用いただくためのソフトウェアです。

おことわり

本ソフトウェアは、本製品の使用許諾契約のもとでのみ使用することが出来ます。

お客様が本ソフトウェアを使用したことにより、被ったいかなる直接的、間接的または、偶発的損害も賠償致しかねますので、ご了承下さい。

使用されているパソコンのシステム構成他によっては正常に動作しなかったり、全く動作しない場合がありますのであらかじめご了承下さい。

本ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、販売、譲渡、ネットワークにより提供することを禁止します。

本ソフトウェアの仕様及びマニュアルに記載されている事項は、将来予告無しに変更することがあります。

本ソフトウェアを改造、変更すること、及び本ソフトウェアの機能等に変更を加えることを目的としたプログラムを作成、使用、譲渡、貸出またはネットワークにより再頒布することを禁止します。本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止します。

動作環境

オペレーティングシステム: Windows XP
ブラウザ: InternetExplorer 5.5SP2 以上

InternetExplorer を使用しない場合も、本ソフトウェアのインストールを行う前に、最新のサービスパックをインストールしておいてください

Windows XP は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

その他、商品名および製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

*** インストールの前に、必ず InternetExplorer のバージョンを確認ください。**

bアクセス BIZ 使用説明書

Windows XP

日本通信のデータ通信カード(BMH10-J、BMH10C-J、BMH11-J および BMH11C-J)以外での動作保証は致しかねますので、予めご了承ください。

ご使用のパソコンにより、一部画像が異なることがあります。

1. bアクセス BIZ の起動

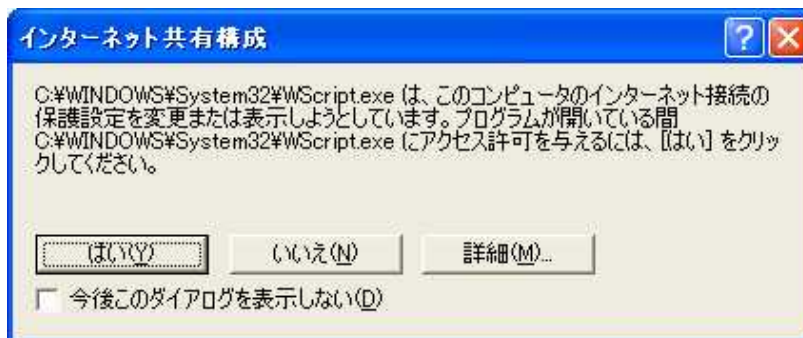
デスクトップのbアクセス BIZ のショートカットをダブルクリックします。



bアクセスBIZ

bアクセス BIZ のアイコン

bアクセス BIZ のソフトウェアを起動すると、ダイヤルアップ設定に Windows 標準のファイアウォールが適用されます。このとき下記のダイアログが表示されるため、「はい」を選択してください。



正しく設定が完了すると、ネットワーク接続に作られた、BMAUTODL の設定に錠のマークが表示され、ファイアウォールの設定が適用されたことがわかります。

ダイヤルアップ



BMAUTODL

この後、bアクセス BIZ のソフトウェアは Windows で認識されているデータ通信カードを利用して PHS 接続し、自動的に認証サーバーにbアクセス BIZ の登録を行います。正しく認証が行われた後、bアクセス BIZ の機能がすべて利用可能になります。

注意: データ通信カードが認識されていなかったり、カードが差し込まれていない場合、エラーが生じます。(Windows の標準 PCMCIA カードモデムでカードが認識されている場合も b アクセス BIZ で正しく認識されません。)

基本的なインターフェイスはこれだけで、非常にシンプルな画面構成になっています。



インジケータおよび接続・切断ボタン

b アクセス BIZ の接続状態のインジケータと接続・切断ボタンを兼ねています。

コメント欄

それぞれの状態はここに文字列で表現されます。

設定ボタン

b アクセスの詳細設定を行うための設定ウィンドウを表示します。

2. bアクセス BIZ のインターフェイス



クリックするとセキュアコネクションを実行します。
通常は、こちらをご使用下さい。



クリックすると無線 LAN に接続します。



クリックすると通常の PHS 接続を実行します。
SecurePHS で接続できない場合のみ、ご使用下さい。

以下に、インジケータが表示する b アクセス BIZ の状態を説明します。

(例1) SecurePHS・無線 LAN・PHS とともに接続可能な状態

この状態でボタンをクリックすると、SecurePHS・無線 LAN・PHS に接続可能です。

b アクセス BIZ は接続状態によってインジケータの表示が変化します



(例2) 無線 LAN が接続可能で、SecurePHS・PHS は接続できない状態



(例 3) SecurePHS・PHS に接続可能、無線 LAN に接続済みで通信中



インジケータは通信の接続および切断を b アクセス BIZ で行う為の機能を持っており、マウスなどのポインティングデバイスによって、操作することができるボタンとなっています。各インジケータの表示はステータスにより以下のように変化します。

	利用出来ない場合	利用可能な状態	接続・通信中
	PHS や無線 LAN カードが認識されていない。または、利用できる無線 LAN アクセスポイントがない状態です。インジケータをクリックすることはできません。十分に電波を受けることができない状態も下記の表示になります。	カード等が認識され、利用可能な待機状態。インジケータをクリックすると接続ができます。(接続までには少し時間がかかります。) お使いの場所で接続が安定しない場合は場所を移動して、接続してみてください。	インジケータをクリックすると、接続を切断します。
SecurePHS			
無線 LAN			
PHS			

3. 設定

1. PHS 接続設定

a) PHS-接続 (ダイヤルアップ接続を行う。)

接続タブでダイヤルアップ接続の設定を行うことができます。

The screenshot shows the PHS connection settings window. The '接続' (Connection) tab is selected. The 'アクセスポイント' (Access Point) field is empty. The '通信モード' (Communication Mode) section has 'マルチリンク' (Multi-link) selected. The '有効期限' (Validity Period) field is empty, and the '確認' (Confirm) button is visible. The '状態' (Status) section shows '未接続です' (Not connected). The 'ダイヤル' (Dial) checkbox is unchecked. The '開じる' (Open) and '適用' (Apply) buttons are at the bottom.

Callouts provide the following information:

- アクセスポイントが選択できます (複数ある場合)。 (Access points can be selected (when there are multiple).)
- 通信モードの切替ができます。() シングルリンク / マルチリンクモード (Communication mode can be switched. () Single-link / Multi-link mode)
- 確認ボタンを押すとご使用のデータ通信カードの有効期間を表示します。 (Pressing the Confirm button displays the validity period of the data communication card you are using.)
- チェックボックスにチェックを入れるとダイヤルが行えます。 (Checking the checkbox allows dialing.)

通信モードについて

マルチリンクとは、理論値最高 32kbps(下り)の通信を提供するシングルリンク(電波1波)をベースに、電波状況や通信料によりシングルリンク(1波)からマルチリンク(4波)までを状況に応じて同時に利用する通信環境です。

注1) Windows のダイヤルアップ接続アイコンから設定に変更を加えた場合、それらの設定はb アクセス BIZ には反映されません。

注2) 同じモデムを使用するダイヤルアップ接続が複数ある場合は、接続済みのダイヤルアップ接続を切断してからもう一方のダイヤルアップ接続を接続してください。

b)PHS-アクセラレーター (アクセラレーターの設定切替えを行う)

Web アクセラレーターの切り替え、キャッシュファイルの削除(インターネット一時ファイルの削除)を行うことができます。

Web アクセラレーターとはブラウザで表示されるデータをモバイルインターネット接続向けに調整することによって高速なブラウジングを実現するためのサービスです。グラフィックファイルなどで画質が気になる場合にはより高画質の Marion をご利用ください。また、テキスト中心のブラウジングであれば、[lan]を利用することでより高速なブラウジングが可能です。

アクセラレーターの種類を選択します。変更後、「適用」ボタンをクリックして Internet Explorer に設定を反映させます。切り替え後に新しく起動した Internet Explorer ウィンドウから有効となります。またアクセラレーターを切り替えた後には、キャッシュを削除するまで、反映が確認できないことがあります。

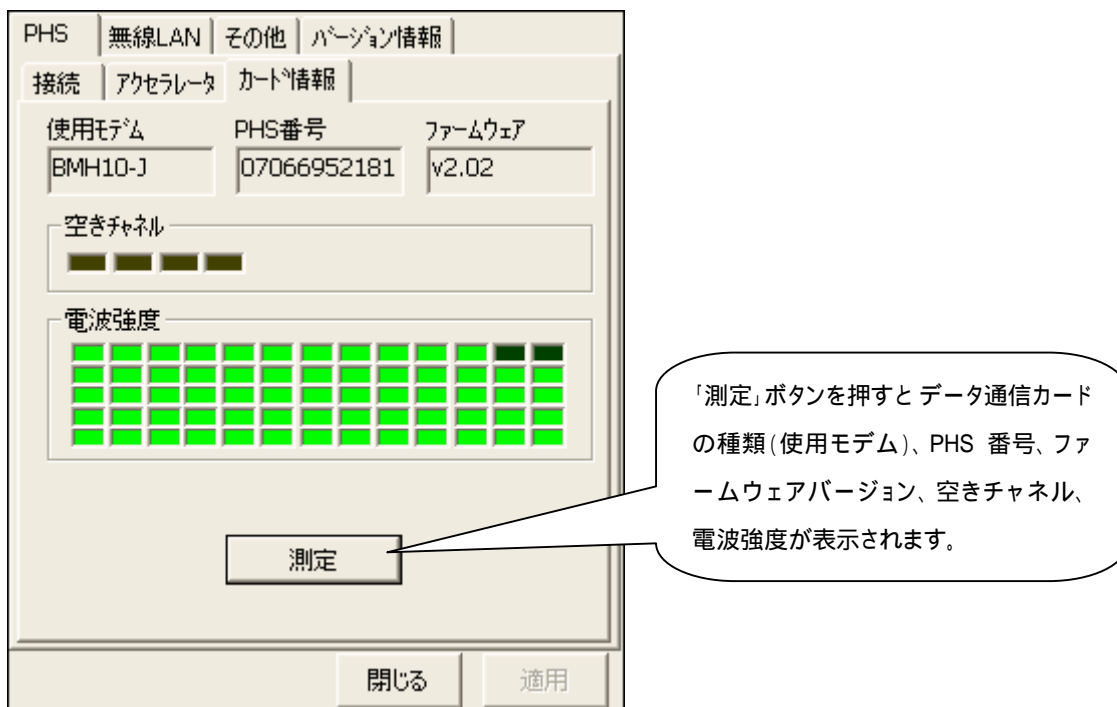
キャッシュファイルを削除する場合、チェックします。「適用」ボタンをクリックすると実行されます。(インターネット一時ファイルのフォルダの中身をすべて削除します。)

- 注1) b アクセス BIZ 以外でアクセラレーターの設定を行った場合は実際のアクセラレーターの設定が正しく表示されない場合があります。
- 注2) この機能でアクセラレーターの設定を切り替えると、HTTP 以外で設定していたプロキシサーバーの情報や例外の設定情報は失われますのでご注意ください。

c) PHS-カード情報

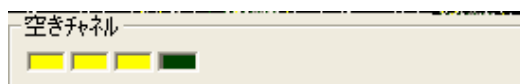
(通信カード (PHS) カードの情報および周囲の電波状況の確認)

カード情報タブでデータ通信カードの情報を表示することができます。ダイヤルアップ接続中は測定できません。接続を切断すると「測定」ボタンがクリック可能となり測定が出来ます。電波状況は測定場所、測定時間によって異なります。表示は測定した時点の結果を示すもので、接続中の電波状況を示すものではありません。



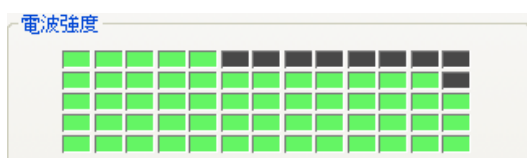
空きチャネル

測定した時点での基地局と接続が可能な通信リンクの数を黄色のランプで表示します。最大は4です。下記のように表示される場合には、空きチャネルが3であり、マルチリンクのフルスペックでは利用できないこと示しています。



電波強度

通信カードから感知できる基地局の数と、それぞれの基地局のカードに到達した電波の強度を緑色のランプで表示します。ゲージの横方向は基地局の数を、縦方向はそれぞれの電波の強さを示します。下記の表示の場合には、電波を受信することができる基地局が13局あり、それぞれレベルは、5段階表示で、レベル5が5局、レベル4が7局、レベル3が1局となっています。



2. 無線 LAN 接続設定

a) 無線 LAN-アクセスポイント (無線 LAN アクセスポイントの検索)


アクセスポイントタブで現在のアクセスポイントの確認を行うことができます。


The screenshot shows a window titled "無線LAN" (Wireless LAN) with several tabs: "無線LAN", "その他", and "バージョン情報". Under "無線LAN", there are sub-tabs: "アクセスポイント", "公衆サービス", and "ユーザー定義". The "アクセスポイント" tab is active, displaying a table with columns for "電波強度" (Signal Strength), "SSID", and "サービス" (Service). The table lists several access points, including "FREESPOT", "1030015", "MIAKO", "MCTTEST", and "comet". Each entry has a corresponding signal strength bar. Below the table, there are checkboxes for "登録済APのみ" (Only registered APs) and "非公開AP検出" (Detect hidden APs), and radio buttons for "自動" (Automatic) and "手動" (Manual) scanning. A "更新" (Update) button is also present. Callouts provide the following information:

- アクセスポイントの情報が表示されます。(Access point information is displayed.)
- 電波強度の確認が行えます。(Signal strength can be confirmed.)
- アクセスポイントの表示方法を切り替えます。(Switch the display method of access points.)
- 非公開のアクセスポイントを検出する場合に、チェックします。(Check when detecting hidden access points.)
- 自動で定期的にはスキャン、手動でスキャンのどちらかを選ぶことができます。自動の場合は、接続間隔を短くすると更新は速くなりますが、バッテリーの消耗など問題もあります。(You can choose between automatic and manual scanning. In automatic mode, shortening the connection interval speeds up updates, but there are issues like battery consumption.)

電波強度

スキャンした時点の電波強度が表示されます。青色もしくは赤色の部分が受信している電波レベルで点灯している数が多いほど電波が強くなります。

< 青 >  登録されたアクセスポイント

< 赤 >  登録されていない(b アクセス BIZ で接続できない)アクセスポイント

- 注1) アクセスポイントがその存在を隠している場合、それらのアクセスポイントを b アクセス BIZ は発見できないことがあります。
- 注2) 無線 LAN カードによって信号レベルは異なります。電波強度は参考程度にご利用ください。
- 注3) 公衆無線 LAN ローミングサービスのご利用には、ユーザー登録が必要となります。

b) 公衆無線 LAN-公衆サービス

公衆無線 LAN アクセスポイントの設定

公衆サービスタブで公衆無線LANに関する接続の可否などを設定します。

The screenshot shows the 'Public Service' tab in the PHS settings. The 'Service Name' list includes FREESPOT, Yahoo!BBモバイル, モバイルポイント, みあこネット, 無線LAN倶楽部, and ホットスポット. Below the list are 'Up' and 'Down' buttons. A text box contains a note about PHS usage on b-Mobile BIZ. At the bottom, there are two checkboxes: 'This service is not used' and 'Show confirmation message at connection', and 'Close' and 'Apply' buttons.

Callout 1: 情報を表示、変更するサービスを選択します。

Callout 2: 選択している公衆無線 LAN の接続優先度を上にしたり、下にしたりします。

Callout 3: 選択している、各サービスの説明を表示します。公衆無線 LAN 接続時にも同様の確認メッセージが表示されます。等価交換日数などの確認を行ってください。

Callout 4: 選択しているサービスの利用を停止します。

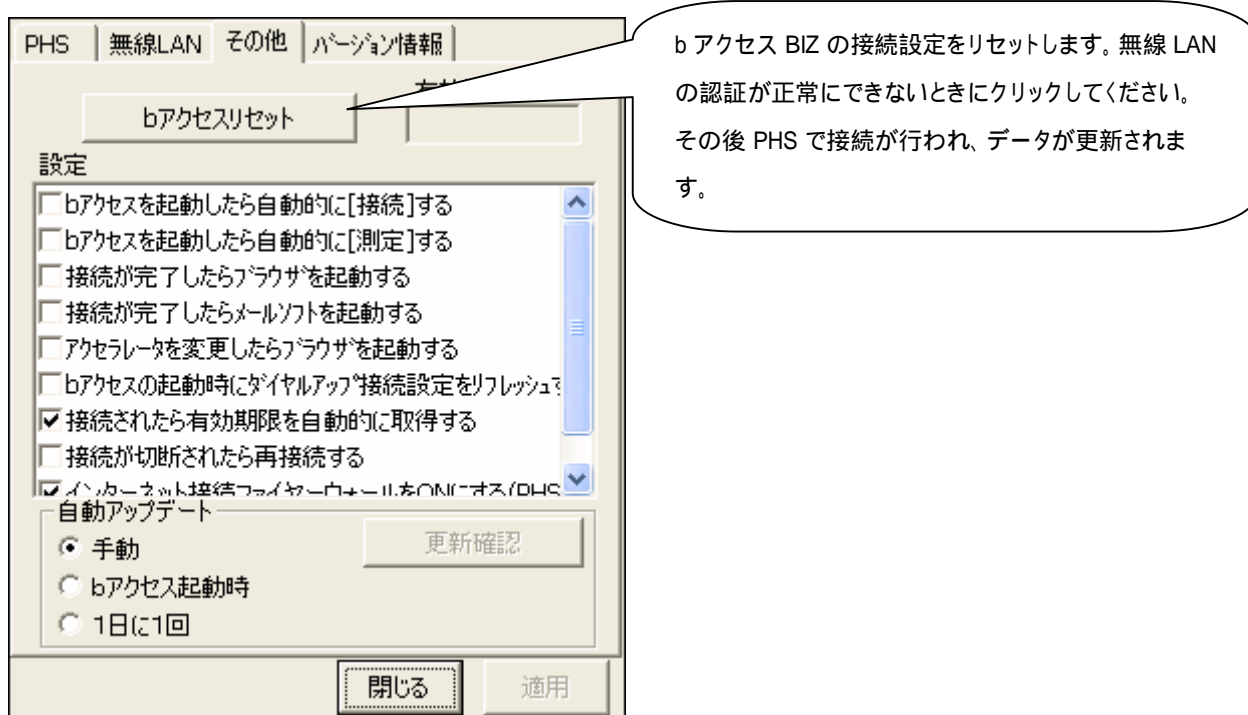
Callout 5: 選択している公衆無線 LAN の接続時に確認メッセージを表示します。通常間違った接続を防止するためチェックを入れることをお勧めします。

- 注1) ご利用いただけるサービスは随時追加されます。最新の設定をご確認ください。それらの設定はbアクセス BIZ の自動更新機能でアップデートできます。
- 注2) 等価交換方式による PHS の利用日数との交換レートは場合により変更になります。最新の設定をご確認ください。それらの設定はbアクセス BIZ の自動更新機能でアップデートできます。
- 注3) 一部サービスでは公衆無線 LAN サービス独自の Web 認証に対応していない場合があります。この場合無線 LAN の接続は完了していますので、ブラウザを開き、認証画面からログインを行ってください。

公衆無線 LAN サービスに必要な設定を確認する

公衆無線 LAN サービスをご利用になる場合にはあらかじめ PHS の接続を行い、b アクセス BIZ の認証をしてください。この状態でも正しく公衆無線 LAN に接続が行えない場合には b アクセス BIZ に登録され

た情報をリセットすることができます。初回の自動接続を失敗した場合などに行う必要があります。



b アクセス BIZ の認証が正しく完了している様に見える場合でも、公衆無線 LAN への接続が失敗する場合があります。認証には PHS の圏内で行う必要があり、完了まで少し時間が必要です。認証が正しく行われていない場合には b アクセスリセットを実行してください。

公衆無線 LAN 接続方法 1

b アクセス BIZ の状態を確認してください。

無線 LAN のインジケーターがグレイアウトしておらず、薄い緑色になっており、接続可能な状態になっていることを確認してください。この状態では、無線 LAN のみ接続可能な状態を示しています。



無線 LAN 接続ボタンを押すと、b アクセス BIZ がローミング接続を始める前に、確認画面が表示されます。この時点で「いいえ」ボタンを押してキャンセルした場合、課金は行われません。意図しない公衆無線 LAN サービスとの接続が起こる場合には、「公衆無線 LAN」タブの「このサービスは利用しない」をチェックして、不必要な接続を抑制してください。

「はい」ボタンを押すと、b アクセス BIZ は以下のような手順で無線 LAN の接続を行います。

- 1) 対象のアクセスポイントへ接続する。
 - 2) IPアドレスが取得されるまで待機する。
 - 3) ユーザー認証を実行する。
 - 4) 認証が正常に完了したことを確認する。
- 1) ~ 4) の間は「無線 LAN」ボタンの表示は薄い緑色と濃緑色の点滅となります。



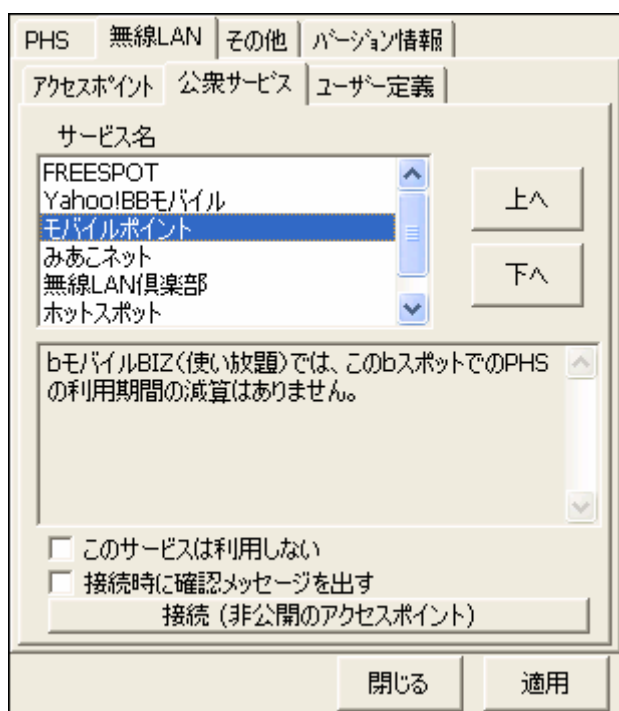
無線 LAN に接続、通信中

接続が完了すると、無線 LAN のアイコンが濃緑色になり、接続が完了したことが確認できます。無線 LAN のログオフおよび切断時にはもういちど、無線 LAN のボタンをクリックしてください。

公衆無線 LAN 接続方法 2

b アクセス BIZ の状態を確認してください。

一部の公衆無線 LAN では、SSID() の隠蔽を行うことによって、アクセスポイントを非公開にしている場合があります。この場合 b アクセス BIZ で正しく認識できません。利用できるエリア内にもかかわらず、b アクセス BIZ が正しく反応しない場合には公衆サービスタブ内の接続ボタンを利用して強制接続を行ってください。



SSID について

SSID とは、利用する無線 LAN ネットワークと他のネットワークを識別するためのグループ名のようなものです。無線 LAN は電波を使って通信するため、複数のネットワークと交信可能になる「混信」状態が生じる可能性があります。このため、無線 LAN のアクセスポイントと各端末に SSID を設定し、SSID が一致する端末としか通信できないようにします。

公衆無線 LAN 接続方法 3

一部の公衆無線 LAN では、SSID の隠蔽を行うことによって、アクセスポイントを非公開にしている場合があります。しかし、b アクセス BIZ では設定を変更することによってこれらのアクセスポイントを通常のアクセスポイントと同じように容易に接続できるようになります。設定の中にある「無線 LAN」タブの中の「アクセスポイント」タブに表示されている「非公開 AP 検出」のチェックボックスにチェックを入れることで、非公開アクセスポイントの検出を b アクセス BIZ で行えるようになります。



- 注1) この機能はアクセスポイントを自動的にスキャンさせる機能と組み合わせて利用すると、無線 LAN アダプタの電力消費が大幅に増加します。
- 注2) この機能を利用する場合、b アクセス BIZ がアクセスポイントを検索する時間が長くなります。処理中は PC がしばらくの間、操作を受け付けないことがあります。

c) 無線 LAN-ユーザー定義

ユーザー定義の無線 LAN アクセスポイントの接続設定を行う。
ユーザー定義の無線 LAN に関する接続の可否などを設定します。
ここで設定した項目については、公衆無線 LAN の設定に優先されます。

The screenshot shows a web-based configuration interface for wireless LAN user definitions. The interface includes a navigation menu at the top with tabs for 'PHS', '無線LAN', 'その他', and 'バージョン情報'. Under the '無線LAN' tab, there are sub-tabs for 'アクセスポイント', '公衆サービス', and 'ユーザー定義'. The main content area is titled 'サービス名' and contains a list of user-defined wireless LAN access points. Each entry has a '接続時に確認メッセージを出す確認' checkbox. Below the list are input fields for 'SSID' and 'WEP Key'. At the bottom, there are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), '削除' (Delete), '閉じる' (Close), and '適用' (Apply). Callouts provide detailed instructions for each of these elements.

情報を表示、変更するサービスを選択します。

選択している無線 LAN の接続時に確認メッセージを表示します。通常間違った接続を防止するためチェックを入れることをお勧めします。

接続先の SSID を確認します

新しく接続先を追加します。

選択している接続先を編集します。

選択している接続先を削除します。

選択している無線 LAN の接続優先度を上げたり下げたりします。

選択している接続先の接続確認メッセージを表示します

選択している接続先の WEP キーを表示します。(***で表示)

ユーザー定義の無線 LAN 追加・変更・削除

ユーザー定義の無線 LAN を登録する場合。

ユーザー定義の無線 LAN 接続設定(前項を参照)で、新しい接続先を追加するため、追加ボタンを押して、ユーザー定義の追加ウィンドウを呼び出します。

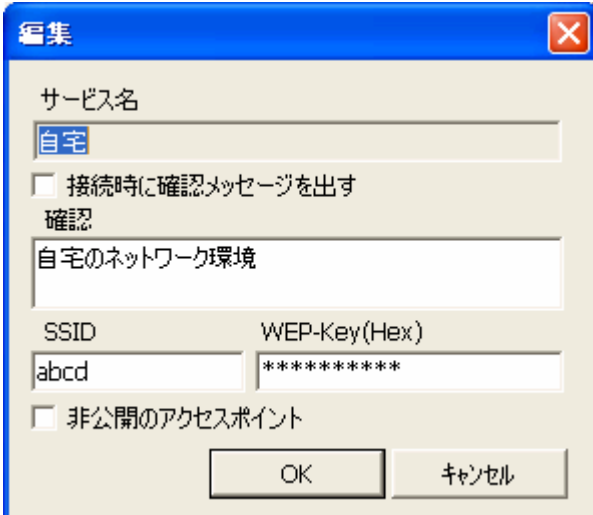
ご利用の無線 LAN の接続に必要な情報を登録してください。

「OK」を押した後に、メインウィンドウに戻り適用ボタンをおして反映させます。

ユーザー定義が反映され、利用準備が整いました。

ユーザー定義の無線 LAN 接続設定を変更

一度登録を行った内容に変更を行う場合、変更を加える接続先を選択して、「変更」ボタンをクリックします。ユーザー定義の編集ウィンドウが呼び出されます。サービス名以外の項目の編集が行えます。



The image shows a Windows-style dialog box titled "編集" (Edit). It contains the following fields and controls:

- サービス名 (Service Name): A text box containing "自宅" (Home).
- 接続時に確認メッセージを出す (Show confirmation message at connection time).
- 確認 (Confirmation): A text box containing "自宅のネットワーク環境" (Home network environment).
- SSID: A text box containing "abcd".
- WEP-Key(Hex): A text box containing "*****".
- 非公開のアクセスポイント (Hidden access point).
- Buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

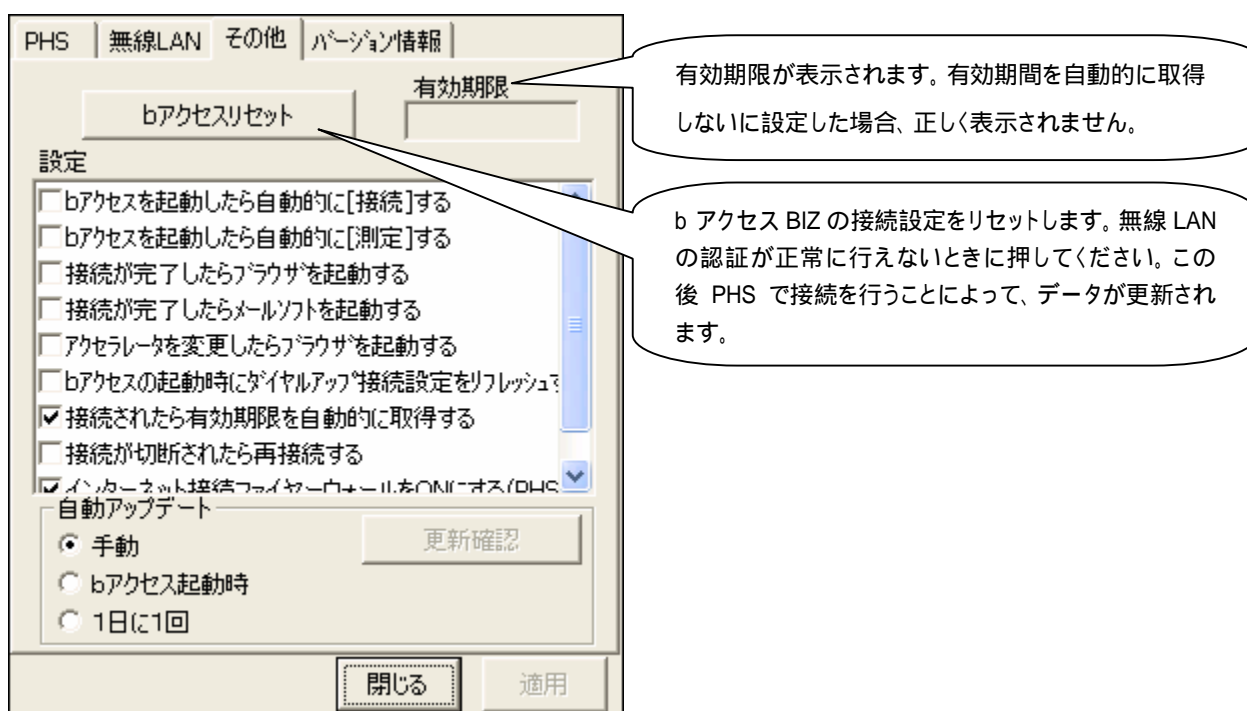
ご利用の無線 LAN の接続に必要な情報を登録してください。

「OK」を押した後に、メインウィンドウに戻り適用ボタンをおして反映させます

3. その他

設定を確認・変更する

設定タブでは PHS に関連した b アクセス BIZ の設定の確認・変更を行えます。設定の変更は各項目のチェックボックスで行うことができます。(チェックが入っている項目が ON) 変更後「適用」ボタンを押すとすぐに変更が反映されます。



各設定項目については次ページにて説明します。

- 注1) ユーザー名、パスワード、通信モードの項目は「適用」ボタンを押すと保存されます。
- 注2) ユーザー名とパスワードを変更して接続するには、b モバイルユーザー登録ページからご自身の認証ユーザー名・パスワードを事前に変更しておく必要があります。
- 注3) 有効期限が最新の情報の時は、日時が青色で表示されます。

設定内容詳細

起動してすぐにダイヤルアップを開始します。「起動したら自動的に[測定]する」も設定されている場合には測定後に接続を開始します。(初期設定:OFF)

起動すると電波強度を測定します。(初期設定:OFF)

接続完了後「標準で使用しているブラウザ」を起動します。(初期設定:OFF)

接続完了後「標準で使用しているメールソフト」を起動します。(初期設定:OFF)

アクセラレーターの変更後「適用」ボタンをクリックするとブラウザが新たに起動します。(初期設定:OFF)

ダイヤルアップ接続設定をリフレッシュします。(初期設定:OFF)

ダイヤルアップ完了後、有効期限を取得します。(初期設定:ON)

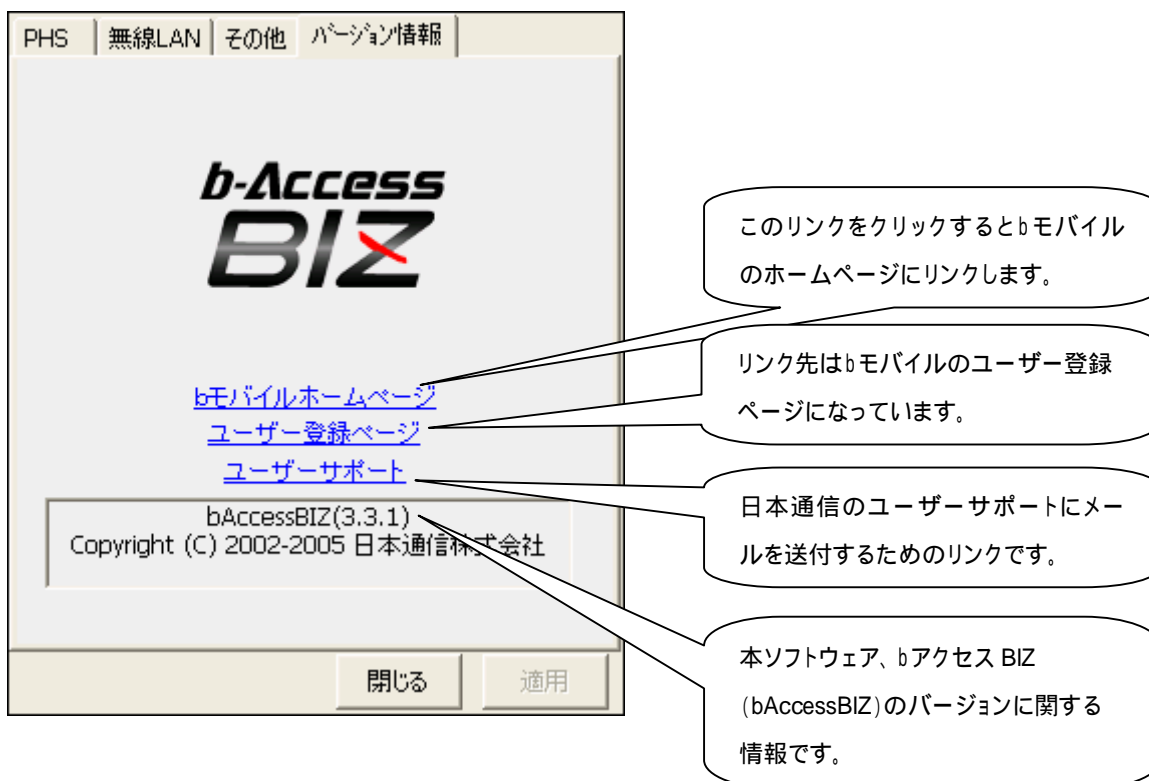
接続が切断された場合再び接続する。(初期設定:OFF)

Windows 標準のファイアウォールを有効にして接続を保護します(PHSのみ本機能は有効です。この機能を利用すると、Windows から通信を行わない限り通信は遮断されます。(初期設定:ON)

4. バージョン情報

バージョンを確認する

バージョン情報タブでbアクセス BIZ の情報を確認することができます。



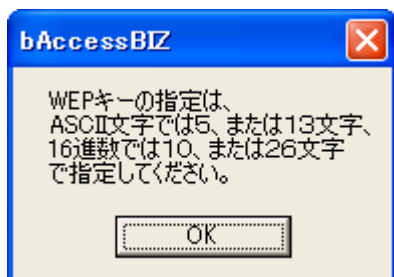
5. ワンポイント

WEP キーの入力

[設定]-[無線 LAN]タブの「公衆サービス」または「ユーザー定義」において「WEP キーなし」が標準の設定になっているアクセスポイント(“FREESPOT“や”みあこネット“など)において、実際にご利用になるアクセスポイントに WEP キーが設定されていた場合は、bアクセス BIZ は WEP キーの入力を求めます。その場合には、アクセスポイントの運営者から WEP キーを入手して入力してください。



また、入力ミスがあった場合次の警告が表示されます。



自動アップデート

PHS でインターネット接続を行った状態からbアクセス本体や設定、アクセスポイント情報をアップデートすることができます。



「手動」時には更新確認ボタンを押す。それ以外の設定では自動的に更新の確認が行われます。



インストールされているbアクセス BIZ を解析した結果、最新の状態へ更新ができる項目にはチェックボックスが表示されます。チェックをはずすとその項目に関する更新を取りやめることができます。

「更新」ボタンを押すとbアクセス BIZ の更新が実行されます。

他社製無線 LAN ソフトウェアとの相性について

bアクセス BIZ では WindowsXP の標準サービスである Wireless Zero Config の代わりに作動します。一部の無線 LAN アダプタに付属するユーティリティソフトウェアも同様の機能をもつ場合があります。また、一部のアダプタでは、Wireless Zero Config に対応せず、独自のユーティリティソフトウェアとの組み合わせのみで作動するハードウェアもあります(ハードウェアに搭載されている独自機能が、独自ユーティリティソフトウェアでのみ利用可能な場合もあります)。これらの特殊な場合は次の方法で回避できることがあります。なお、削除を行う前に、独自ユーティリティソフトウェアのバックアップを行ってください。

1. 独自ユーティリティソフトウェアを終了する。
2. 独自ユーティリティソフトウェアをアンインストールする。
アンインストール方法については各無線 LAN アダプタに付属のマニュアルをご確認ください。

無線 LAN ドライバソフトウェアのアップデート

bアクセス BIZ で無線 LAN スポットをご利用の場合には、メーカーにて配布されている無線 LAN アダプタ用の最新ドライバソフトウェアが必要になる場合があります。これらのソフトウェアをアップデートすることによって、接続性が改善することがあります。ドライバのアップデートについては、事前にドライバの提供元の情報を必ず確認した上でご利用ください。